

第225回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成29年1月16日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人  
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)  
君島 理恵 (副委員長)  
青木 敬信  
早川 富美子  
町田 明久

(2) 欠席委員の氏名 畠山 大

(3) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)  
床井 和夫 (業務推進本部副本部長)  
佐藤 望 (放送部長)  
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

新番組「サトウヒロコ 言葉の授業」の昨年11月3日と、12月8日放送分について、試聴と意見交換を行った。

事業者

これは、11月から放送をスタートした、毎週木曜日、夜9時30分からの15分間の録音番組です。本県壬生町出身のシンガーソングライターのサトウヒロコが、人々の心を動かす数々の言葉をテーマに、その選び方、使い方、遊び方を説明。また、様々な楽曲の中で使われた言葉＝歌詞から見える時代背景や、そこに込められた作者の想いなどについても考えていきます。

## 【 番組の試聴 】

委員：

サトウさんは声質がきれいだが、サラサラと話が流れてしまっていて、ラジオパーソナリティーとしての個性が、あまり感じられなかった。

まだまだ、ラジオで話すことに慣れておらず、放送に違和感を感じる場面が多々あった。

委員：

サトウさんを今回、番組で起用した理由は何か？

事業者：

サトウヒロコは、現在、地元の小学生などに言葉の授業をおこなっており、音楽を通じての言葉の伝え方について強い思いがある。そのような本人の思いに応じて、番組をスタートすることになった。

委員：

「言葉の授業」という番組名はとても重厚なイメージがあったが、番組は全体的に中身が薄く、期待外れな内容だった。

やはり、授業と称する以上、もっとこの15分間の中に、聞いてためになる情報を詰め込んで話してほしい。

委員：

シンガーソングライターとして“言葉”を大切にして曲を作っているのに、せっかくの自身の冠が付いたこの番組の中で、それらの曲に込めた想いや熱意があまり語られることがなかったのは、とても勿体ない。

紹介する曲の歌詞について、サトウさんがどう解釈しているのか、そういったことを説明する番組内容を期待したい。

委員：

今回、試聴した初回の放送は、全体的にサトウさんのトークのテンポが遅く、BGMの大きさに声が出ていて内容が聞き取りにくかったが、もう一つ試聴した第6回の放送では、サトウさんの語りも慣れてきて、だいぶ聞きやすくなっていた。

今後は、「シンガーソングライター」として、ラジオパーソナリティーとして、自身のライブのエピソードも語るのもいいだろうし、自身で作った曲などの歌詞に光を当てて、もっと伸び伸びと自身の言葉で自由に語ってほしい。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について  
次回の開催を3月6日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日  
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 1月29日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項  
なし